

# デグーの口腔内処置を可能にするアルファキサロンを用いた皮下注射麻醉法

坂 本 匠 威                      鈴 木                      馨<sup>†</sup>

東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター  
(〒183-8509 府中市幸町3-5-8)

(2023年9月29日受付・2024年3月4日受理・2024年4月19日公開)



本文はこちら  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/4/77\\_e57/\\_article-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/4/77_e57/_article-char/ja)

## 要 約

デグーの口腔内処置を可能にする注射麻醉法を提案するため、メドミジン0.2 mg/kgとブトルファノール2.5 mg/kgを麻醉前投薬した後にアルファキサロン7 mg/kgを皮下注射した際の効果を調べた。横臥姿勢に至るまでは約3分と速やかで、その後20分程度続く鎮静効果及び抗侵害受容作用を認めた。酸素マスクを装着した状態であれば経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)はおおむね99%を示し、体温、心拍数、呼吸数及び脈拍数も臨床的に満足のいく範囲内で推移した。次にこの麻醉法で模擬的な口腔内処置を行ったところ抵抗なく処置を実施でき、フローバイ法により酸素を補助的に吸入させることでSpO<sub>2</sub>の低下を93%程度に抑制できた。これらから、この方法はデグーの口腔内処置に有用な注射麻醉法であると考えられた。——キーワード：アルファキサロン、デグー、口腔内処置、皮下注射麻醉。

-----日獣会誌 77, e57～e62 (2024)